

2019年3月 モザンビークサイクロン災害



集合写真（画像提供：JICA）



診療サイト（画像提供：JICA）



診療の様子（画像提供：JICA）



薬局業務の様子（画像提供：JICA）

【活動概要】

2019年3月にモザンビーク共和国を同じサイクロンが二度襲撃し、多くの死者・被災者が発生した。この災害に対し、日本国政府はモザンビーク共和国の要請を受け、国際緊急援助隊医療チームを派遣した。当院からは薬剤師の齊藤が3月28日～4月10日まで一次隊の一員として派遣された。

現地では、Type1と呼ばれるフィールドクリニックを設置して外来診療にあたった。齊藤も薬剤師として調剤・投薬にあたる一方、限られた人数での活動となることから患者受付業務、テント設営や修繕など出来る事は積極的に行った。

初の国際派遣であったが、現地の方々の優しさや感謝、日本への期待の大きさに触れ、身が引き締まるとともに今後も積極的に参加したいと思わせてくれた活動であった。（齊藤）